

令和2年度 第3回 大阪市立玉造幼稚園 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立玉造幼稚園

園長名 梶川 景子

日時	令和3年3月10日(水) 18:30~20:00		
場所	大阪市立玉造幼稚園 保育室		
出席者	委員など	5名	
	校園	2名	
	区役所	1名	
議題	(1) 運営に関する計画 最終評価について (2) その他		
協議要旨		協議の結果	意見の概要
	(1)	<p>○運営に関する計画 最終評価について、理解を得た。</p> <p>※スライドからの子どもたちの姿や保育の取組について、保護者アンケート、配布物などの資料 等から提案</p>	<p>○運営に関する保護者アンケート結果から、肯定的な意見が多く、各目標を達成することができた。</p> <p>○幼稚園に来ることがなかったが、スライドから幼稚園の生活や取組の様子が分かった。</p> <p>○コロナ禍の中での取組の中、迷ったらやめるというのではなく、できる範囲で工夫して取り組んでいることは嬉しいことである。</p> <p>○広い園庭がある環境はとてもよい。自然を生かして保育をすることはこの幼稚園ならではの取組であった。また、コロナ禍で家に籠ることが多いので、戸外での活動を増やしたこともよい。</p> <p>○このような状況の中でも、子どもたちの成長を促す環境を整え、日常の保育や一つ一つの行事についても、細かく感染予防を検討して実施している。</p> <p>○以前からも手洗い、うがいの重要性を丁寧に指導していたが、この1年で再確認し、正しい手洗いが身についた。子どもの心をくすぐる保健指導は子どもの心に残るものであった。</p> <p>○1年が終わり、幼稚園としてはこれでよかったのかと思うかもしれないが、取組を見て、よくやってくれたと感じている。</p> <p>○今年度を冷静に振り返り、来年度に生かして欲しい。</p>
	(2)	○その他	○幼稚園と地域のつながりが深い。しかし、今年度は、地域としても行事を中止をせざるを得なかった。まだ見通しは立たないが、今までのつながりが途切れることの無いように、していく。

協議資料	○運営に関する計画・最終評価 ○幼稚園の1学期・2学期・3学期の生活のスライド ○せいかつだより、ほけんだより、行事の取組やアンケート、子どもの言葉 等
備考	傍聴者[0]名